

# Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2024.11.02

No.048



2024年10月31日開催

八地申

第4号

団体交渉

その1

## 武蔵野運輸区発足後の 労働条件・業務改善を求める申し入れ

### 1. 武蔵野運輸区を発足した成果と課題を明確にすること。

回答：安全・安定輸送のレベルアップを図るとともに、効率的な業務執行体制を実現することを目指しているところである。引き続き、お客さまに選ばれ、喜んでいただける輸送サービスを作り上げていく考えである。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"><li>● 回答が不明瞭だ。改めて成果と課題を問いたい。</li><li>● 行路の点以外で課題は？</li><li>● 安全・安定輸送のレベルアップで具体的に取組んだことは何か？</li><li>● 折り返し駅での汚物清掃が万全ではなく、座面を濡らしたまま営業運転に就いている列車がある。サービス低下だと思うが、これを踏まえてもなお「お客さまに…輸送サービス」と言えるのか？</li><li>● 効率化によってサービス低下や業務支障の現実が多々ある。必要なところにお金をかけるべきだ。</li><li>● 乗務員や管理者のミスが目立つ。運休も出すという重大事象や職場環境が悪化したとの声もある。</li><li>● 発生したミスは業務掲示で周知できないのか？ 安全、サービスレベルの向上のために必要だ。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 発足半年で成果と課題を示せないが、効率的な業務執行体制が構築できた一方で、乗務員行路で非効率な交代（南浦和駅）が依然残っていること。</li><li>➢ 勤務操配でコミュニケーションエラーが出ていると聞く。支社として指導している。</li><li>➢ 運転士と車掌がコミュニケーションをとることで相互理解が深まったと思う。</li><li>➢ 低下した現状に妥協せず、会社としてやるべきことはやっていく。</li><li>➢ 意見は承った。効率化と聞くと響きが悪いが、人をなくすことありきで効率化を進めているわけではないことを理解してほしい。</li><li>➢ 「<u>悪化</u>」の比較基準がないため申し上げられないが、列車運休の事実を受けて支社として対策を実施している。</li><li>➢ 「<u>はい</u>」とは言えない。事象を事細かく周知しないが、事象への対策は他山の石を活かして、支社として指導していく。</li></ul>

対立

つづく…

成果よりも明らかに山積する課題を会社に訴えるも、  
改善には及び腰よろしく、個別事象にも答えず。  
これで労働条件・職場環境の改善が見込まれるとでも！？